

## Beta-Tricalcium Phosphate as a Possible Adjuvant in $\gamma$ $\delta$ T Cell-Based Immune Therapy for Human Disorders

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土屋, 裕美子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00033454">https://doi.org/10.20780/00033454</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 780 号	氏 名	土屋 裕美子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	坂井 修二	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>近年、がんの治療法として免疫細胞療法が注目されている。現在まで、がん細胞を攻撃できる T 細胞を体外で増殖させ、担がん患者に投与する養子免疫療法が行なわれてきた。特に <math>\gamma\delta</math> T 細胞は、樹状細胞からの情報がなくても、がん細胞を認識して攻撃することが可能であり、がん細胞を排除する能力が高いため、免疫細胞療法に使用されてきた。しかし、末梢血中の <math>\gamma\delta</math> T 細胞の数は少ないため、生体外での効果的な培養を介して <math>\gamma\delta</math> T 細胞の数を増やすことが重要であると考えられている。本研究では、<math>\beta</math>-リン酸三カルシウム (<math>\beta</math>-TCP) による末梢血由来 <math>\gamma\delta</math> T 細胞への刺激効果と細胞増殖への影響を解析し、ほとんどの実験 (5/6 回) で、<math>\beta</math>-TCP を培養液に添加することにより、<math>\gamma\delta</math> T 細胞の数が増加することを確認した。</p> <p>以上本研究は、医療現場で広く使用されている <math>\beta</math>-TCP を用い、がんに対する <math>\gamma\delta</math> T 細胞治療をより効率的に行える可能性を提案できている。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			